

医療機関広域浸水対策事業費

【予算額：1,191千円】

(平成29～31年度)

1 被害のシミュレーションと対策の検討

- (1) コーディネーターの設置 4月
専門的見地からの全体的な調整。
コーディネーター：愛媛県立新居浜病院外科部長 明比 俊
(愛媛県災害拠点病院コーディネーター、日本DMATインストラクター)
- (2) 医療機関の実態調査及び被害想定
浸水医療機関等の実態を把握し、発災直後の対応を検討。
 - ・調整員設置 5月
調整員：愛媛県立新居浜病院DMAT看護師及び西条中央病院、済生会西条病院、住友別子病院、十全総合病院の看護師
 - ・実態調査 7、8月
場所：西条中央病院、済生会西条病院、住友別子病院、十全総合病院
調査者：コーディネーター、調整員等
 - ・被害想定 10月取り纏め
- (3) 事例調査 8月31日、9月1日
浸水対策が進んでいる愛知県の取組みを調査。
調査先：愛知県健康福祉部保健医療局医務課、名古屋掖済会病院
派遣者：コーディネーター、調整員等
- (4) プロジェクトチームの編成
地域一体で取り組むためプロジェクトチームを立ち上げ、対策検討。
構成員：水医療機関、災害拠点病院、看護協会、市防災担当、警察、消防、自衛隊、海上保安部、地元建設事業者、交通機関等
 - ・キックオフミーティング 7月7日
自己紹介、事業進捗状況及びスケジュール説明
 - ・第2回プロジェクトチーム会 11月2日
医療機関実態調査及び先進地調査結果報告、タイムライン及びアクションカードモデル作成状況報告
 - ・第3回プロジェクトチーム会 1月30日
浸水対策の手引き内容案検討
 - ・拡大プロジェクトチーム会 3月23日
浸水対策の手引き説明・配布

2 アドバイザーの招へいと研修会の開催

- 地域における課題の緊急性と対策の必要性を広く周知。
- ・アドバイザー：名古屋掖済会病院 副院長 北川喜己
(愛知県救急搬送対策協議会副会長、愛知県本部災害医療コーディネーター、日本DMATインストラクター)
 - ・研修会
開催日：7月7日
場所：東予地方局7階大会議室
内容：基調講演
「名古屋市臨海部における浸水対策」
講師：名古屋掖済会病院 副院長 北川喜己
圏域報告
「新居浜・西条圏域の被害想定と現在の取組み」
講師：愛媛県立新居浜病院 外科部長 明比 俊
参加者：217名

3 アクションカードモデルの作成 3月23日研修会開催

発災時の初動対応の雛形となる「アクションカードモデル」を作成するとともに、地域行動計画の基軸となるタイムラインを盛り込んだ「浸水対策の手引き」を編さん。